

施設評価シート（小学校）

（平成22年度事業）

施設名	備前市立西鶴山小学校	問	担当課（室）	教育総務課
		合	職・氏名	課長代理・入江章行
		先	電話	0869-64-1802
所在地	備前市畠田53番地	所属長職・氏名	課長・竹中史朗	
		このシート作成に要した時間		1.0 時間

根拠法令等	名称	学校教育法、備前市立小学校、中学校、高等学校及び幼稚園設置条例		
総合計画上の位置付け	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり	基本施策	01 未来を支える人材を育むまちづくり
	施策	02 小・中学校	事務事業名	02 小学校管理運営事業

対 象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 市立小学校児童		
目的・意図する成果	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 小学校において、地域や学校の実態、生徒の発達段階や特性を生かすよう考慮して編成した教育課程を達成できるよう管理運営を行う。		
施設内容 規 模 建設年月	施設内容（主要施設）	規 模	建設年月
	校舎	鉄筋コンクリート造3階建 1,856㎡ 普通教室 6室 337㎡ 特別教室 7室 591㎡	平成4年3月
	屋内運動場	鉄骨造1階建 807㎡	平成3年3月
	クラブハウス	鉄骨造1階建 83㎡	平成4年3月
	便所	コンクリートブロック造1階建 13㎡	平成10年10月
管理運営方法	<input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> すべて直営 （一部委託の内容）		

経 費	年 度		平成20年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績		単位
	人件費 （市費のみ）	正規職員	1.0 人	5,259	1.0 人	5,366	1.0 人	5,516	人/千円
		臨時職員	常勤	0.0 人	0	0.0 人	0	人	
	非常勤		1.0 人	1,090	1.0 人	2,558	1.4 人	3,581	人/千円
	維持補修費			2,101		1,810		2,063	千円
	物件費		3,466		4,653		3,329	千円	
	補助費							千円	
	その他（ ）		394		390		390	千円	
	合 計		12,310		14,777		14,879	千円	
財 源	保育料・使用料・授業料等		17		21			千円	
	一般財源		12,293		14,756		14,879	千円	
園児・児童・生徒 数			95		90		89	人	
1人当たりコスト（一般財源）			129,400		163,956		167,180	円	

園児・児童・生徒数の推移	（単位：人）									
	年 度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24(見込)	H25(見込)	H26(見込)
	(1年)	11	13	15	16	11	12	8	19	12
	(2年)	23	13	12	15	16	11	12	8	19
	(3年)	12	24	12	12	15	16	11	12	8
	(4年)	22	12	23	12	12	15	16	11	12
	(5年)	14	22	12	23	12	12	15	16	11
	(6年)	22	14	21	12	23	12	12	15	16
	計	104	98	95	90	89	78	74	81	78

平成23年度の状況 及び 管理運営の改善案	児童数は減少傾向である。日常点検の励行など、引き続き節減努力をしている。
-----------------------------	--------------------------------------

施設修繕・大規模改修費用（今後5年間：平成24年度から平成28年度）						
毎年経常的に 必要な修繕費	内 容		金額（千円）	内 容		金額（千円）
		施設・設備・機器等修繕料		600		
			今後5年間に 必要となる 大規模改修費			

総合 コメント	<p>児童数は減少傾向にあり、今後、児童一人当たりの経費も増大してくることが予想される。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。</p> <p>児童が減少傾向にあり、将来の市内小学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全市的見地に立って多方面から検討する必要がある。</p> <p>市立学校教育環境整備検討委員会の報告においては、通学の安全面や保護者の経済的負担に配慮しながら近距離にある小学校との統廃合や学区見直しにより学校規模の適正化を図ることが望まれるとされたが、市教委としては、校舎等の建築は他校に比して古くなく、隣接する保育園、共同調理場などに代表される施設活用のあり方など、多岐にわたる総合的な検討を要する。</p>
------------	--